



第101卷 第4号 史学・地理学・考古学

論 説

- 唐における侍御史知雑事と御史台の変容……………小野木 聡 (1)
徳川家康の叙位任官……………藤井讓治 (39)

書 評

- 高田京比子著
『中世ヴェネツィアの家族と権力』……………藤内哲也 (75)
上田貴子著
『奉天の近代 移民社会における商会・企業・善堂』…吉澤誠一郎 (82)
シュテファン・ヒューブナー著
高嶋航・富田幸祐訳
『スポーツがつくったアジア
——筋肉的キリスト教の世界的拡張と
創造される近代アジア』……………小木曾航平 (88)

紹 介

- 阿部泰郎著
『中世日本の世界像』……………殷 捷 (95)
池内敏著
『日本人の朝鮮観はいかにして形成されたか』……………李 咳 鎮 (96)

史 学 研 究 会

京都大学大学院文学研究科内

会 告

去る六月二十一日に開催されました史学研究会理事会・評議員会におきまして左記の事項が可決、承認されましたのでご報告申し上げます。

記

- 一、平成二十九年年度決算報告
- 一、平成三十年年度予算案
- 一、役員交替
- 1、退任

理事長 井谷鋼造

常務理事 小野沢透(↓理事)、

高嶋航(↓理事)

監 事 山澄亨(↓評議員)

理 事 石川義孝、西山良平、

南出眞助、横田冬彦、

田中和子(↓理事長)

評 議員 太田出(↓理事)、

金澤周作(↓常務理事)、

木田知生、久保一之、

佐藤信、林和生、

谷川穰(↓常務理事)

庶務委員 小山田真帆、杉谷倫生

2、新任

理事長 田中和子

常務理事 金澤周作(↑評議員)

監 事 谷川穰(↑評議員)

理 事 谷口淳一

井谷鋼造(↑理事長)、

小野沢透(↑常務理事)、

太田出(↑評議員)、

高嶋航(↑常務理事)

評 議員 上杉和央、門井直哉、

塩出浩之、田島公、

堀健彦、三宅正浩、

吉江崇、山澄亨(↑監

事)

編集委員 増永理考

庶務委員 柘植衛、山内健太

一、その他

『史林』のリポジトリへの掲載について、掲載先を京都大学学術情報リポジトリKURENAIとする常務理事会案が承認されました。

受贈誌

(二〇一八年四月六日)

二〇一八年六月二三日

文學論叢(愛知大学人文社会学研究所) 一

五五

オリエント(日本オリエント学会) 六〇—

二

国立歴史民俗博物館研究報告(国立歴史民俗博物館) 二〇九

駿台史學(駿台史学会) 一六三

福島県立博物館紀要(福島県立博物館) 三

二

東洋大学文学部紀要(東洋大学) 七一史学科篇四三

美術研究(東京文化財研究所) 四二四

史學雜誌(史學會(東京大学文学部内)) 一二七—三

大倉山論集(大倉精神文化研究所) 六四

龍谷大学経済学論集(龍谷大学経済学会) 五七—一・二

岐阜経済大学論集(岐阜経済大学学会) 五

一—三

経済学研究(九州大学経済学会) 八四—四

経済学研究(九州大学経済学会) 八四—

五・六合併号

藝林(藝林會) 六七—一

信濃(信濃史学会) 七〇—四

政治経済史学(日本政治経済史学研究所) 六〇—一六二—

経済科学(名古屋大学大学院経済学研究科) 六五—三・四

立命館文學(立命館大学人文学会) 六五七

東北大学文学研究科研究年報(東北大学大学院文学研究科) 三七

奈良史学(奈良大学史学会) 三五

日本歴史(日本歴史学会) 八四〇

ANTHROPOLOGICAL SCIENCE (The Official Journal of THE ANTHROPOLOGICAL SOCIETY OF NIPPON) 一二六—一

栃木県立文書館研究紀要(栃木県立文書館) 二二

栃木県立文書館だより(栃木県立文書館) 六〇

日本史研究(日本史研究会) 六六八

日本民俗学(日本民俗学会) 二九三

国立歴史民俗博物館研究報告(国立歴史民俗博物館) 二一〇

国家學會雜誌(国家学会事務所) 一二—一

三・四

民俗学研究所紀要(成城大学民俗学研究

所) 四二

大東文化大學漢學會誌(大東文化大學漢學會) 五七

同朋大學論叢(同朋大学同朋学会) 一〇二—一〇三

同朋大學論叢(同朋大学同朋学会) 九六—九七

京都女子大学大学院文学研究科研究紀要史学編(京都女子大学大学院文学研究科) 一七

史窓(京都女子大学史学会) 七五

中央研究院歴史語言研究所集刊(中央研究院歴史語言研究所) 八九—一

国立歴史民俗博物館研究報告(国立歴史民俗博物館) 二二—一

東洋文化研究(学習院大学東洋文化研究所) 二〇

経済研究(一橋大学経済研究所) 六九—二

専修史学(専修大学歴史学会) 六三

専修史学(専修大学歴史学会) 六四

帝塚山大学大学院人文科学研究科紀要(帝塚山大学大学院人文科学研究科紀要編集委員会) 一八

奈良学研究(帝塚山大学奈良学会) 二〇

- 日本文化史研究(日本文化史学会) 四九
九州国際大学教養研究(九州国際大学教養学会) 二四—三
石炭研究資料叢書(九州大学記録資料館産業経済資料部門) 三九
エネルギー史研究—石炭を中心として—(九州大学記録資料館産業経済資料部門) 三三
熊本史學(熊本史学会) 九九
同朋大学佛教文化研究所紀要(同朋大学仏教文化研究所) 三七
同朋大学佛教文化研究所報(同朋大学佛教文化研究所) 三一
信濃(信濃史学会) 七〇—五
茨城大学人文学部紀要人文コミュニケーション学科学論集(茨城大学人文学部) 二二
茨城大学人文学部紀要社会科学学論集(茨城大学人文学部) 六三
纏向学研究センター研究紀要纏向学研究(桜井市纏向学研究センター) 六
山形大学歴史・地理・人類学論集(山形大学歴史・地理・人類学研究会) 一九
史學雜誌(史學會(東京大学文学部内)) 一二七—四
文化(東北大学文学会) 八一—三・四

- 日本学刊 JAPANESE STUDIES (中国社科院日本研究所中華日本学会) 二〇
一八一—二
日本史研究(日本史研究会) 六六九
広島大学大学院文学研究科論集(広島大学大学院文学研究科) 七七
史迹と美術(史迹美術同致会) 八八四
歴史(東北史学会) 一三〇
日本歴史(日本歴史学) 八四—一
社会経済史学(社会経済史学会) 八四—一
史学研究集録(國學院大學日本史学専攻大学院会) 四二
立命館法政論集(立命館大学法学会) 一六
西洋史学報(広島西洋史学研究会) 四四
年報近現代史研究(近現代史研究会) 一〇
龍谷史壇(龍谷史学会) 一四四
國史學(国史学会) 二二五
歴史研究(大阪教育大学歴史学研究室) 五
五
東洋史研究(東洋史研究会) 七七—一
日本歴史学協会年報(日本歴史学協会) 三三
日本史研究(日本史研究会) 六七〇
信濃(信濃史学会) 七〇—六

編集後記

『史林』第一〇一卷第四号をお送りいたします。今号は論説二本に書評三本・紹介二本がございます。いずれも切れ味鋭い考察が展開されております。御味読いただければ幸いです。

また、十一月二日(金)に、史学研究会大会・総会を開催いたします。皆様には奮って御参加いただけるよう、お願いいたします。(松島隆真)

◆史学研究会ホームページ・アドレス

<http://www.shigakukenkuyukai.jp/index.html>

二〇一八年七月二五日印刷 定価 一,二〇〇円
二〇一八年七月二二日発行

史林 第一〇一卷第四号(通算第五三〇号)

京都市左京区吉田本町京都大学大学院文学研究科内

電話 (〇七五) 七五三—二七七八
FAX (〇七五) 七五三—二七八七

発行人 史学研究会

振替京都 〇二〇七〇二二五—一五五番
理事長 田中 和子

印刷所 中村印刷株式会社
京都市南区上鳥羽藤田二九

理事
理事
（*印常務）

監事
評議
員事

編集
委員

庶務
委員

史学研究会役員（二〇一八年六月）

西原和代	小山塩慶	山谷本孟	白木生俊	網島聖一	吉澤誠一	三宅浩	藤永壯	仁木宏博	高山家泰	米山隆	岡本通	岩鼻宏	青山村典	岡本秀雅	吉川道高	南川高	* 谷川穰	小野沢哲	岩崎奈緒子	浅原達	田中和子
山谷内健太	吉井雪妮	内記夫	杉本理子	井谷陽奈子	山澄至	桃木健彦	堀津由喜夫	根島静公	田野直哉	佐野直	門井淳	上垣淳	綾村一	谷口淳	元木泰雄	* 辻正	* 下垣博	* 金澤志	上田周作	石川禎享	
マルチン・タタルチュク	清水大祐	吉川真司	永原陽子	杉本淑彦	金澤周作	和田光弘	矢野健一	本野毅彦	早島大祐	塚本浩之	塩出昌史	北村和一	上杉一幸	飯塚一幸	矢中明毅	* 杉本毅	合本淑德	江田昌彦	井田憲史		
植衛	マイケル・ジャメンツ	増永考	高嶋亮	黒羽太一	渡邊秀一	山川希	美川圭	菱田哲哉	犀尾子卓	角谷隆夫	黒田隆	宇野隆	池内敏	吉井秀夫	永原志	高木志	小島博	小方泰	小方登	稲葉積	
野洋志	松島隆真	谷家作	米邊泰	渡江泰	吉宅直	宮瀬耕太郎	平野照彦	中野照彦	高橋晃	小林晃	大野晃	井上晃	井上晃	吉川真一	水野真一	高嶋真一	小関一	太田茂	岩井茂		

史学研究会大会・総会のお知らせ

左記のとおり、本年度の史学研究会大会および総会を開催いたしますので、多数ご参加ください。

会場は、昨年度と同じく京都大学国際科学イノベーション棟五階シンポジウムホールです。

日時 平成三十年十一月二日（金）午後一時より

場所 京都大学国際科学イノベーション棟五階シンポジウムホール

講演 井野瀬久美恵氏 「帝国だったイギリスの過去」と向き合う

吉本 道雅氏 前四世紀中国における歴史認識の変容
—一九八八〜二〇一八、激変する研究動向と環境のなかで—

—時代区分としての「春秋時代」の出現—

史学研究会

『史林』バックナンバーのリポジトリ掲載に関するお知らせとお願い

史学研究会（以下、「当会」）では、昨今の学術論文のデータベース化やインターネット上での公開の流れを受けて、当会が発行する『史林』のバックナンバーを電子リポジトリに掲載してインターネット上で閲覧できるようにする可能性について検討して参りました。去る二〇一七年一月二日に開催された理事会・評議員会および総会において、①『史林』のバックナンバーを電子リポジトリに掲載すること、②掲載する電子リポジトリについては二〇一八年六月に開催予定の理事会・評議員会で決定すること、が承認されました。

『史林』バックナンバーの電子リポジトリへの掲載を進めるためには、『史林』に掲載された記事（論説、研究ノート、研究動向、書評、紹介などを含む。以下、「論文等」）をインターネット上に公開するための著作権について、当会が著作権者から譲渡ないし許諾を受けていることが必要になります。当会といたしましては、論文等の著作権者に、著作権法第二十一条～第二十八条（第二条は複製権、第二三条は公衆送信権、第二七条は翻訳・翻案権に関する規定です）に定められた権利を当会に委譲することに同意いただきたく存じます。

つきましては、過去に『史林』に掲載された論文等の著者が、著作権法第二十一条～第二八条に定められた著作権を当会に委譲することに同意されない場合は、著者名、論文等の題目、掲載号を明記の上、二〇一八年二月三十一日までに、左記の当会事務局宛に書面にて御連絡ください。御連絡がない場合には委譲を了承されたものとして処理させていただきます。また、前掲の期日以降も、著作権委譲に同意されない旨の御連絡をいただいた場合には、当該の論文等をリポジトリから削除する形で対応いたします。

今回の著作権委譲は、『史林』を電子リポジトリに掲載することを目的とするものであり、著者が論文等を自身の研究活動（翻訳・翻案を含む）に使用すること、あるいは著者が所属研究機関などの他のリポジトリに論文等を掲載することを妨げるものではありません。（詳しくは、『史林』投稿規定の「論文等の電子的公開について」をご参照ください。）ただし、著者ないしはその遺族が所在不明で、第三者が当会に対して論文等の転載や翻訳の許可を求める場合に限り、当会がその適否を判断し、許否を決するものとします。

会員各位におかれましては、本件に関する情報を、退会された旧会員など、『史林』に論文等を掲載したことのある方々にも広く伝えてくださいますようお願いいたします。

二〇一八年一月

史学研究会

〈著作権委譲に同意されない場合の連絡先〉

六〇六一八五〇一 京都市左京区吉田本町

京都大学大学院文学研究科内

史学研究会事務局

SHR@bun.kyoto-u.ac.jp

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. CI No. 4

July 2018

CONTENTS

Articles :

- ONOGI Satoshi, The Transformation of the Attendant Censor for
Miscellaneous Affairs (侍御史知雜事) and the Censorate (御史台)
in the Tang Dynasty (1)
- FUJII Joji, Tokugawa Ieyasu's Appointments to Ranks and Offices (39)

Book reviews :

- TAKADA Keiko, *Famiglie e potere nella Venezia medievale* (TONAI Tetsuya) (75)
- UEDA Takako, *Modernity in Fengtian: Association, Industry and Charity
in Immigration Society* (YOSHIZAWA Seiichiro) (82)
- HUEBNER Stefan, *Pan-Asian Sports and the Emergence of Modern Asia,
1913-1974* (KOGISO Kohei) (88)

Miscellaneous :

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(The Society of Historical Research)

Kyoto University, Kyoto, Japan

定価 1,200円

ISSN 0386-9369